

平成28(2016)年度

事業計画

学校法人 工学院大学

基本方針と重点施策

学園の価値(ブランド力)向上のための 教育・研究改革

<重点施策>

- ・3つのポリシーに基づく教育プログラムの再構成
- ・グローバル化に資する語学教育・キャリア教育の展開
- ・新規施設やICTを活用したアクティブ・ラーニングの推進
- ・学部・大学院接続プログラムの策定と実行
- ・研究・地域連携を通じたブランディングの推進

経営資源の有効活用

<重点施策>

- ・ICTを活用した業務の効率化
- ・施策の効果検証と費用対効果の少ない施策の縮小・中止
- ・スペースチャージ制度導入による施設の有効活用
- ・環境変化を見据えた教職員中期採用計画の策定
- ・新教員人事制度の実施
- ・ガバナンス改革の継続的な実施

2016年度事業計画 基本方針・重点施策

< I. 教育 >

◆大学

[数値目標]

- (1) 2017年度入試 全学科の偏差値 1ポイント以上の上昇
(2014年度から2018年度までで5ポイント上昇/
2018年度入試全学科偏差値 50以上)
- (2) 2017年度入試 志願者数 19,000名(編入学除く)
- (3) 2016年度入学生 1年次35単位以上修得者の割合 85%以上
- (4) 2016年度卒業生 就職率 90%以上
- (5) 2016年度卒業生 大学院(他大学院含む)進学率 30%以上

1. 社会のニーズに応じた学部等の再編

- 1.1 新情報学部の円滑な運営

2. 大学院の強化

- 2.1 大学院進学率向上を見据えた6年一貫型プログラムの検討

3. 組織的・体系的教育の実施(教育改革)

- 3.1 ナンバリングを活用した教育プログラムの再構成
- 3.2 プレリクイジット(履修前提科目)の試験的導入
- 3.3 ピア・インストラクション(学生間の相互作用)による学習意欲・学習効果の向上

4. 学生支援・キャリア支援・就職支援の充実

- 4.1 国際キャリア教育部門の設置と始動
- 4.2 海外インターンシップの検討
- 4.3 課外活動の質的充実
- 4.4 就職支援戦略に基づいた施策の実施

5. 教育システムのグローバル化

- 5.1 英語教育の改革
- 5.2 クォーター制度の全学展開

◆大学・附属中高連携

1. 中高大院一貫教育体制の構築

- 1.1 ラーニングコモンズを活用した中高大院連携の実施
- 1.2 一貫教育体制の長期的な方針の検討

◆附属中高

[数値目標]

- (1) 2017年度入試 ハイブリッドクラスの志願者数
600名アクセス→360名出願→300名受験→200名合格→105名入学
- (2) 2017年度入試 高等学校の志願者数 1,000名以上
- (3) 2017年度入試 中学校・高等学校の偏差値 1ポイント上昇
- (4) 2016年度卒業生 工学院大学内部進学者数 80名以上
- (5) 2016年度卒業生 合格者数
国立大学 10名以上
難関私立大学(早稲田、慶応、上智、東京理科、ICU) 10名以上
GMARCH 30名以上

1. 「21世紀型教育」の実現(教育改革)

- 1.1 全教科においてPBL・PIL型授業の導入
- 1.2 中学校新コースの改善点を明確化し、改革を加速させる
- 1.3 高校新コース改編に向けた具体的準備の開始

2. 教員の教育力向上

- 2.1 新教員人事制度を活用した目標管理と評価の実施
- 2.2 組織目標を踏まえた教育を行うための教員の意識改革
- 2.3 教務の質的向上(教員のIBワークショップ参加など)

3. 生徒の学力向上と学習環境の整備

- 3.1 学力の向上と学習環境の整備
- 3.2 科学的論理思考を育成する教育の推進
- 3.3 高校生の家庭学習の充実と改善

◆学園全体

1. よりよい学習環境に向けた施設・設備の整備

(八王子キャンパスの価値・魅力の向上)

- 1.1 新2号館(新図書館、ラーニングコモンズ)を活用した教育の充実
- 1.2 中高におけるICTを活用した教育の推進

2. IRと連動した情報公表体制の確立

- 2.1 IRを用いた教育の効果検証とその活用
- 2.2 職員のデータ分析・活用能力の向上

<Ⅱ. 研究>

[数値目標]

- (1) 外部研究資金：2017年度科研費申請率 70%以上、
2016年度競争的資金獲得 15件以上
- (2) 査読付論文の採択件数 250件以上
- (3) 研究成果のメディア掲載件数 250件
研究成果のメディア掲載人数 20名
- (4) 大学院生の学会発表 500件以上/大学院生の受賞数 50件以上

1. 先鋭的な研究体制の確立

- 1.1 都市減災研究を重点テーマとした研究活動の推進および研究成果の発信
- 1.2 研究戦略部新設による特色ある研究推進体制の強化

<Ⅲ. 社会貢献>

1. 社会貢献事業の継続的展開

- 1.1 八王子市との包括連携協定の活用
- 1.2 大学コンソーシアム八王子を活用した連携事業による地域貢献

- 1.3 新宿区との包括連携協定の締結と防災・減災連携の強化

<Ⅳ. 国際化>

◆大学

[数値目標]

- (1) ハイブリッド留学の参加者 50名
- (2) 日本留学プログラムにおける協定校からの受け入れ 25名

1. 学生の国際化の推進

- 1.1 文部科学省APを活用したハイブリッド留学、キャンパス・アテンディング・プログラムの拡大
- 1.2 交換留学制度の拡充
- 1.3 海外校との単位互換導入に向けた検討

◆附属中高

1. 国際交流の推進

- 1.1 留学生・帰国生徒の受け入れの拡大
- 1.2 ホームステイによる国際交流の強化と高校生のホームステイの拡大
- 1.3 海外留学の計画と実施および異文化体験

◆学園全体

1. 中長期的な国際化の展開

- 1.1 アジア大学ランキング トップ300に向けた施策の強化

2. 教職員の国際化の推進

- 2.1 留学生の量的拡大を見据えた職員的能力向上

<Ⅴ. 学園運営>

◆学園全体

1. 教職員の人事政策の確立

- 1.1 経営環境を見据えた教職員数の中期計画の策定と実施

2. 財務体質の強化

- 2.1 中期財務計画を指針とした具体的施策の策定と実行

3. 学園運営の基本的見直し（ガバナンス改革）

- 3.1 寄付行為の見直しを含めた諸規定の見直し

4. 業務改革の推進

- 4.1 ICTを活用した業務の合理化（ペーパーレス化、遠隔会議など）
- 4.2 施設・設備の有効活用
- 4.3 学生・教職員の安全確保体制の点検と強化

5. 学園の活性化

- 5.1 130周年に向けた事業の展開
- 5.2 卒業生ネットワークの強化に向けた仕組み作り